

ISO 20022 について – Universal financial industry message scheme

SWIFT (ISO 20022 登録局)
森岡 美江子
2014年7月22日

アジェンダ

- ISO 20022:
 - バリュー・プロポジション
 - 標準
 - 関係者
 - 登録プロセス
 - レポジトリ
- ISO 20022とインターオペラビリティ
- Q&A



目的

金融機関、市場インフラ及びそのエンドユーザーの間で通信する際のインターオペラビリティを実現する

問題点

XMLを利用した金融メッセージについて、様々な標準化の動きが発生した

MDDL, FIX, FinXML, VRXML, RIXML, XBRL, FpML, IFX, TWIST, SWIFT, RosettaNet, EPC, OAGi, ACORD, CIDX, 等



解決策

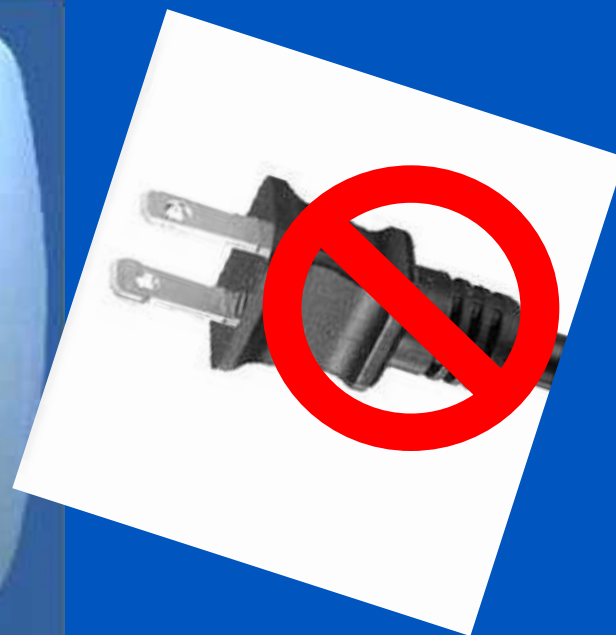
全ての金融標準のイニシアチブに利用可能な、単一の標準化アプローチ(方法論、プロセス、レポジトリ)

ISO 20022

ISO 20022 バリュー・プロポジション(3/5)



単一の標準への**収斂**は、長期的な目標...

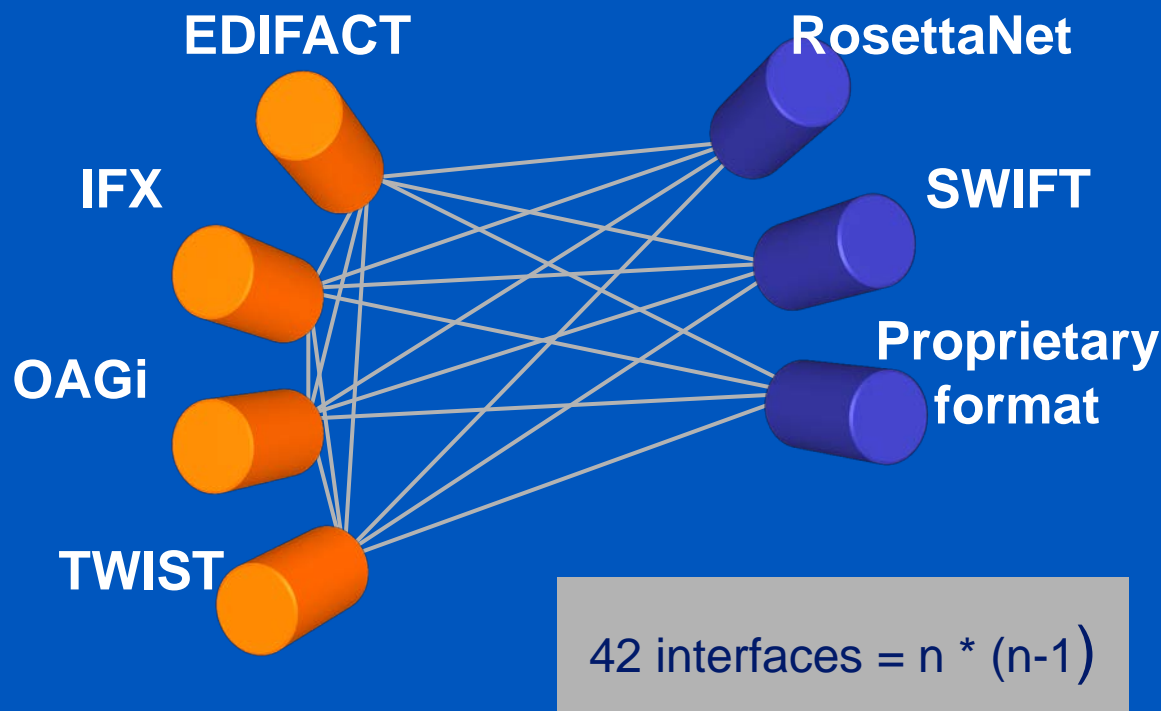


... 過渡期においては、市場のニーズや規制に迅速に対応するため、複数の標準が **共存**する

ISO 20022 バリ्यू・プロポジション(4/5)



成長とともに複雑化し、高コストとなる...



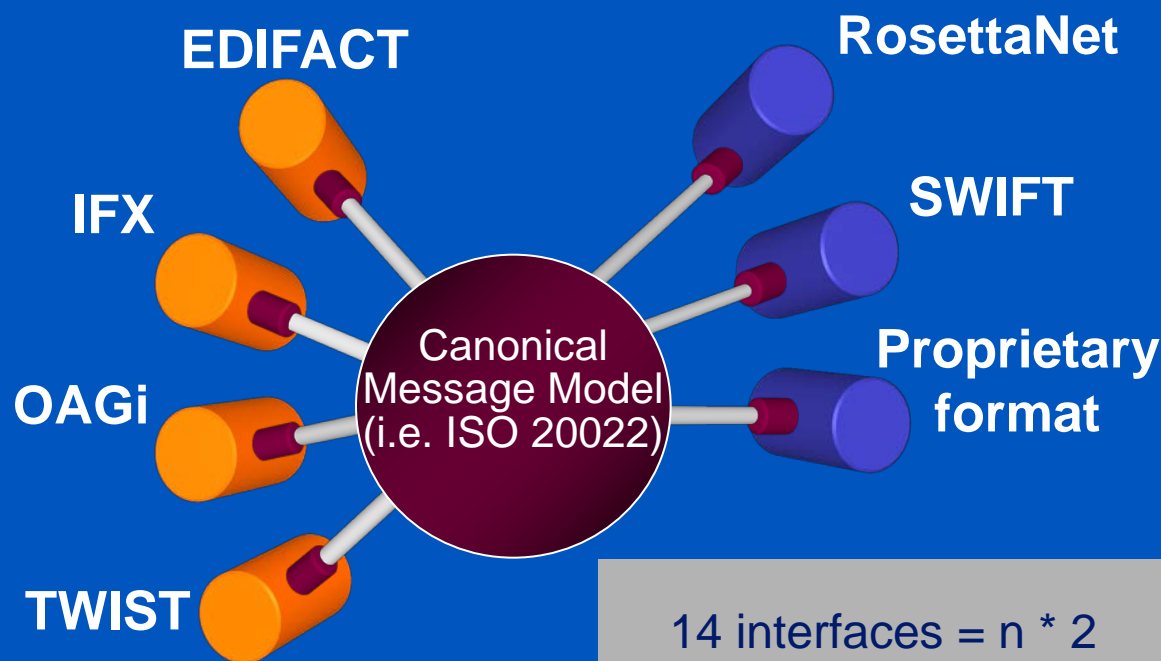
共通の構成要素が欠けている場合:

- 点と点のつながりに終始
- データは各アプリケーション間で直接マッピングされる
- 高コスト、測定不能、導入やメンテナンスの困難さ
- プロセス、ルーティング、ルールロジックは特定の電文種類ごとにコーディングされる

ISO 20022 バリ्यू・プロポジション(5/5)



標準を利用・導入することにより、コストや変更にかかる時間を減らし、全体的なパフォーマンスを改善...



標準電文モデル =

- 本来的なプロセスの統合
- 脆弱でなく、変化に対応しやすい
- 共通化された電文サービス – 単一もしくは共有のパースー、電文から独立したルール・エンジン等
- モニタリング、監査の統合

ISO は、長期的な**収斂**をめざしつつ、短期的な**共存**を促す

8部で構成されるISO 20022 標準

Part 1: Metamodel

Part 2: UML profile

Part 3: Modelling

Part 4: XML schema generation

Part 5: Reverse engineering

Part 6: Message transport characteristics

Part 7: Registration

Part 8: ASN.1 generation

Copies can be obtained from www.iso.org

The ISO 20022 レシピ

主な材料 (1/2):



■ モデリングをベースとする標準開発

- シンタックスから独立した業務の標準化
- 業界による検証

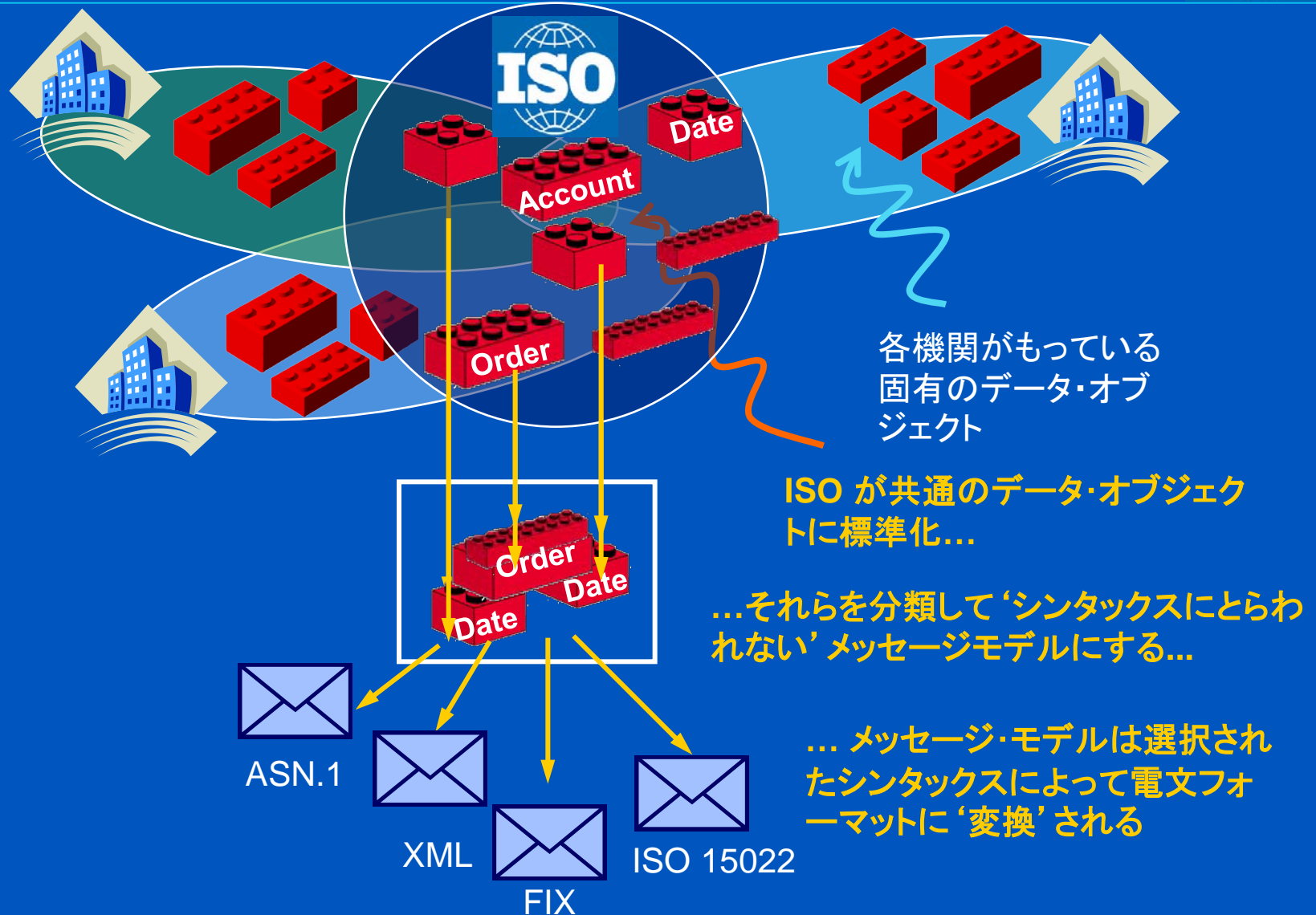
■ シンタックスごとのデザインルール: XML、ASN.1

- 予測可能かつ‘自動処理可能’
- 技術の変化から標準を保護

■ リバース・エンジニアリング

- 業界がこれまでに行った投資を保護し、インターオペラビリティを容易にする
- 将来の移行に備える

ISO 20022 ビジネスモデル概念図



The ISO 20022 レシピ 主な材料 (2/2):



■ 開発 / 登録プロセス

- 手続きと役割の明確化
- 業務のエキスパートと将来的なユーザーが開発の段階から協業する
- 技術に関するエキスパートも必要に応じて参加

■ ISO 20022 ウェブサイトのレポジトリ

- Business Process Catalogue と Data Dictionary
- レポジトリに掲載されている電文や電文の構成要素は、公式の標準には含まれない (登録機関により維持される)

www.iso20022.org



■ データ・ディクショナリー (Data Dictionary)

- ビジネスモデル
- メッセージモデル
- データタイプ

■ ビジネスプロセス・カタログ (Business Process Catalogue)

- 金融ビジネスプロセスモデル
- 金融取引全体のフローと使用される電文に関する情報
- XML もしくは ASN.1 による電文スキーマ

www.iso20022.org

ISO 20022の柔軟性

- SupplementaryData: “補足用”のコンポーネントで、メンテナンスプロセスを待てない場合、または電文本体に導入するには特殊もしくは流動的な内容に対して利用することができる。モデリングルールがある
- External Code Sets: 各SEGによって検証・承認された“外部コード”。ISO 20022のコードセットと違い、電文のスキーマに含まれないため、使用するコードの削除・追加があっても電文のバージョンは変更されない
- Variants: ISO 20022電文のメッセージデフィニションから逸脱しない範囲での“ローカル版”、もしくは“バリエーション”（例：ISO 20022の証券メッセージをISO 15022との互換性を高めるために作成したバリエーション）。RMGでバリエーションに関する定義ならびに登録方法を検討中

ISO 20022: 関係機関(1/2)

開発申請機関

金融業務のためにISO 20022準拠電文を開発したい利用者のコミュニティ、もしくは機関

例:

ANBIMA	CLS	FpML	SWIFT
ASF	The Danish	IFX	UN/CEFACT
Berlin Group	Bankers	ISITC	TWIST
BIAN	Association	NBB	UK Payments Council
CBI Consortium	EPASOrg	OAGi	4CB
China Foreign	EPC	Omgeo	etc.
Exchange Trade	Euroclear	SC7/TG1	
System	FFI		
China UnionPay	FISD		
Clearstream	FPL		

ISO 20022: 関係機関 (2/2)

■ Registration Management Group, RMG

- 全体のガバナンス、コートオブアピール
- 新規の開発申請 (Business Justification: BJ) を承認
- 検討グループ (Standard Evaluation Groups: SEGs) を設置

■ Standards Evaluation Groups, SEGs

- 特定の金融業務分野について将来的なユーザーを代表
- Candidate message standards (新規開発中の電文) を検証
- 変更申請 (Change requests: CR) を承認

■ Registration Authority, RA (登録局)

- 開発や変更が標準に準拠していることを確認
- ISO 20022 Repositoryの維持と掲載

■ Technical Support Group, TSG

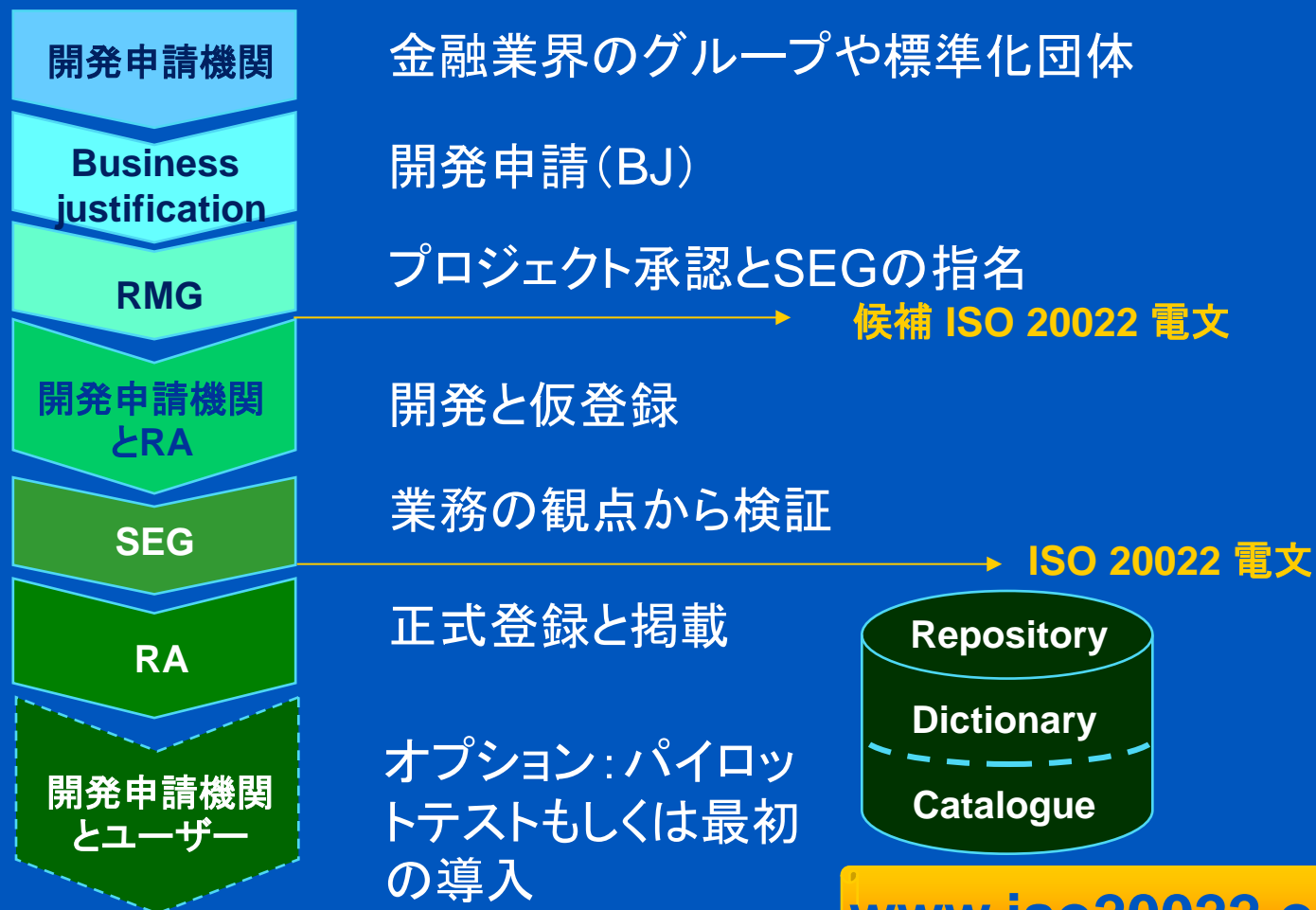
- RMG, SEGs, RA 及び開発申請機関をサポート

ISO 20022 登録プロセス (1/2)

開発プロセス



RMGとRAの連携



www.iso20022.org

ISO 20022 登録プロセス (2/2)

年次メンテナンスプロセス



Timing

By June 1

By July 7

By August 21

By October 1

By December 1

By February 1

April-May



利用者が変更申請 (CR) を RA に提出

SEG による CR スクリーニング

開発申請機関が各 CR 導入について 'Maintenance Change Request' (MCR) を作成

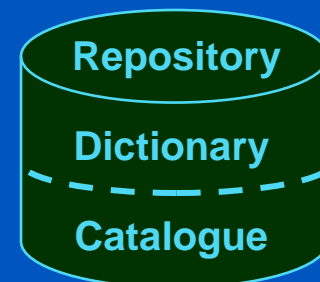
SEG による承認もしくは拒否

新バージョンの開発

新バージョンの検証

登録と掲載

最初の導入ユーザー



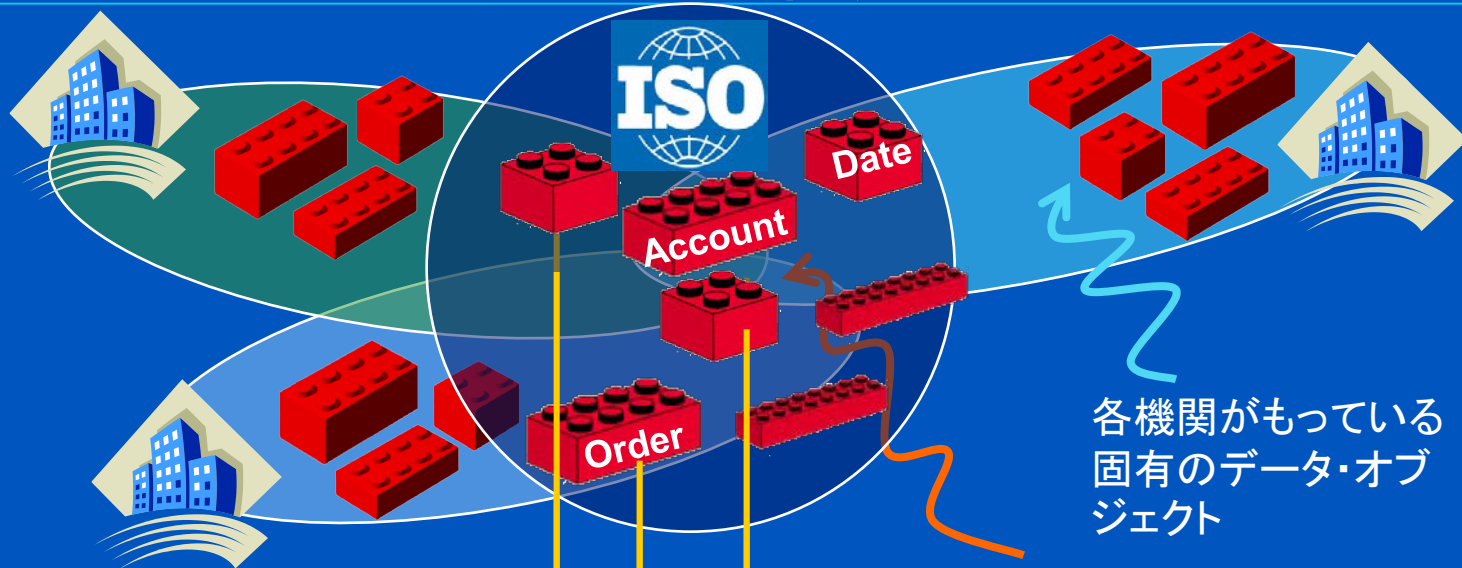


Continuing with today's agenda

ISO 20022

ISO 20022とインターオペラビリティ

インターオペラビリティと ISO 20022 モデリングの利用



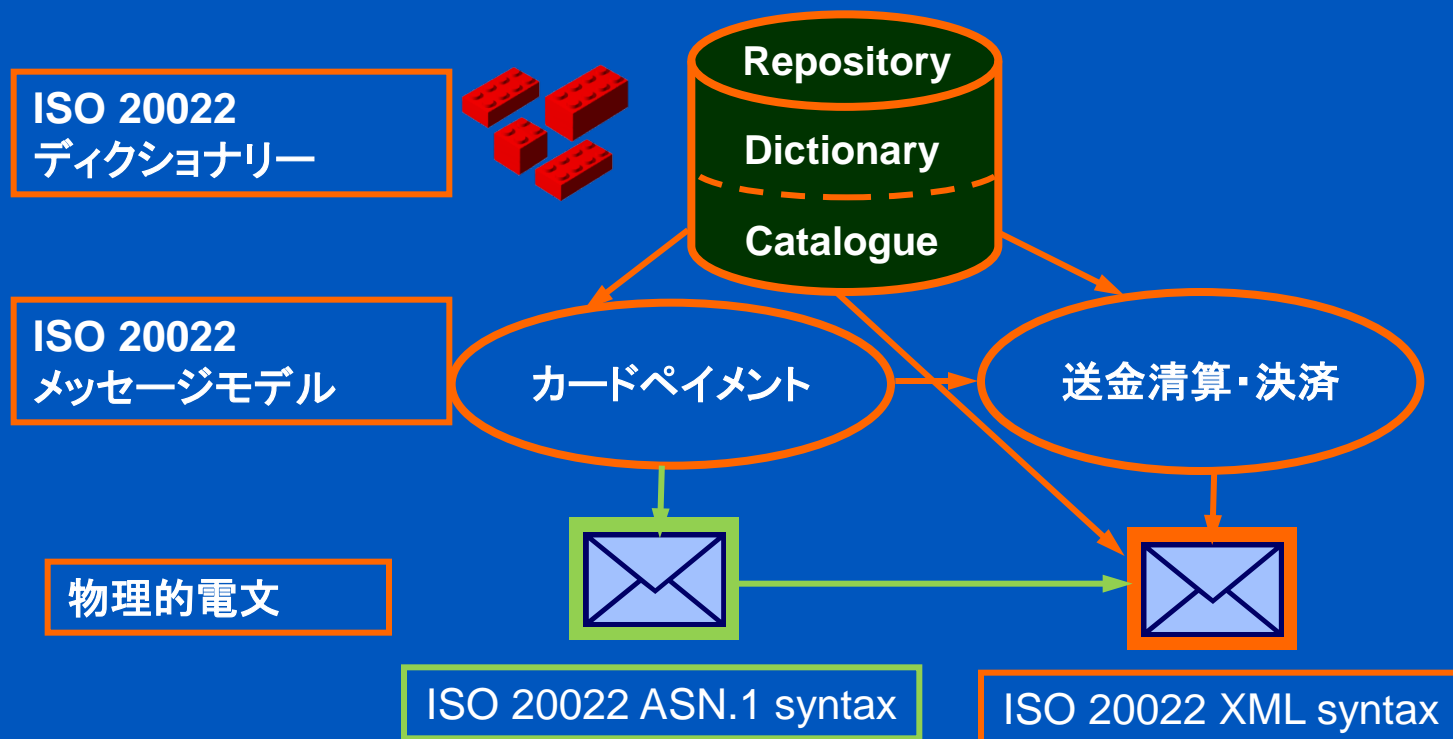
ISO が共通のデータ・オブジェクトに標準化...

...それらを分類して‘シンタックスにとらわれない’メッセージモデルにする...

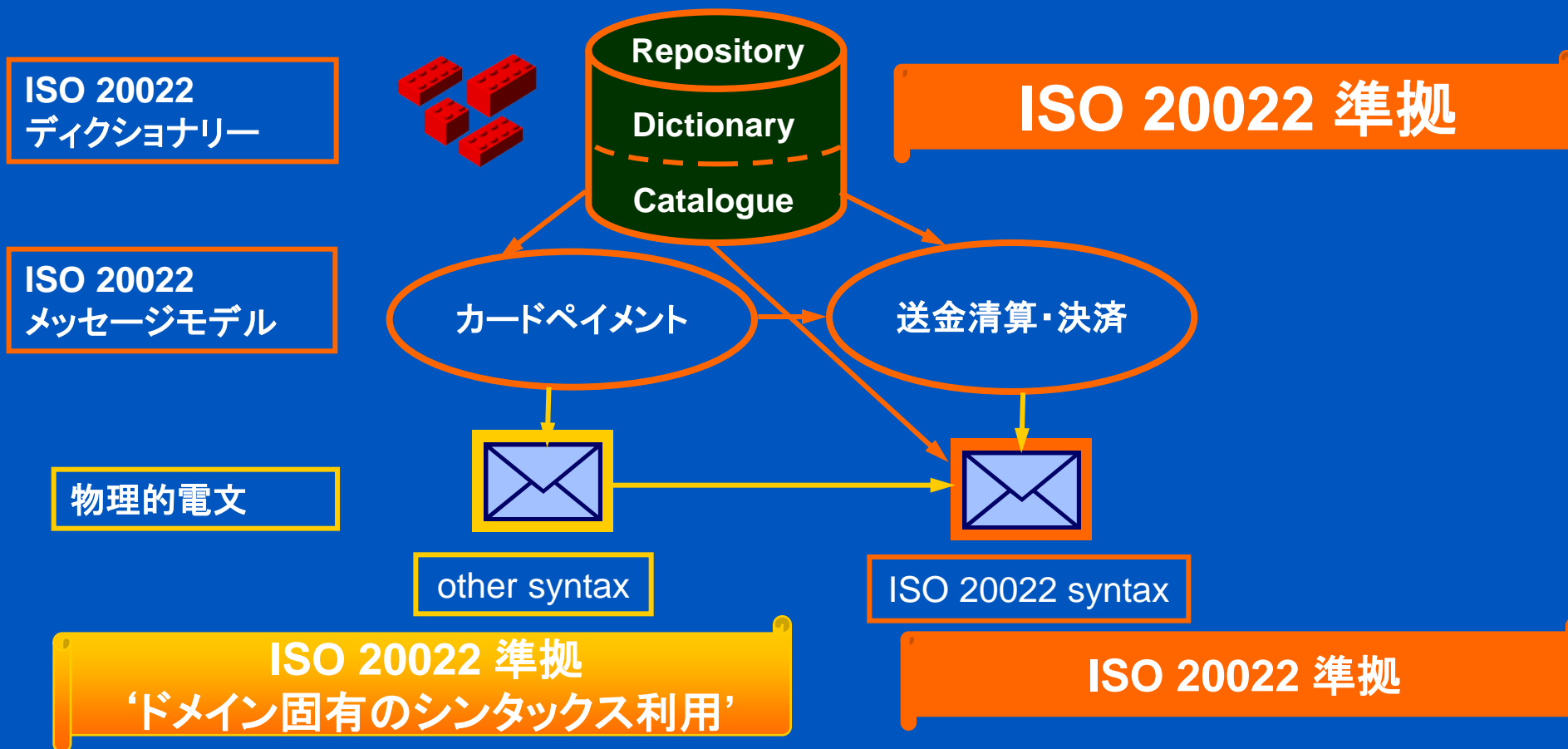


... メッセージ・モデルは選択されたシンタックスによって電文フォーマットに‘変換’される

モデルレベルでの ISO 20022 準拠



モデルレベルでの ISO 2002 準拠



“投資ロードマップ”

ISO, FIX, XBRL と FpML シンタックス



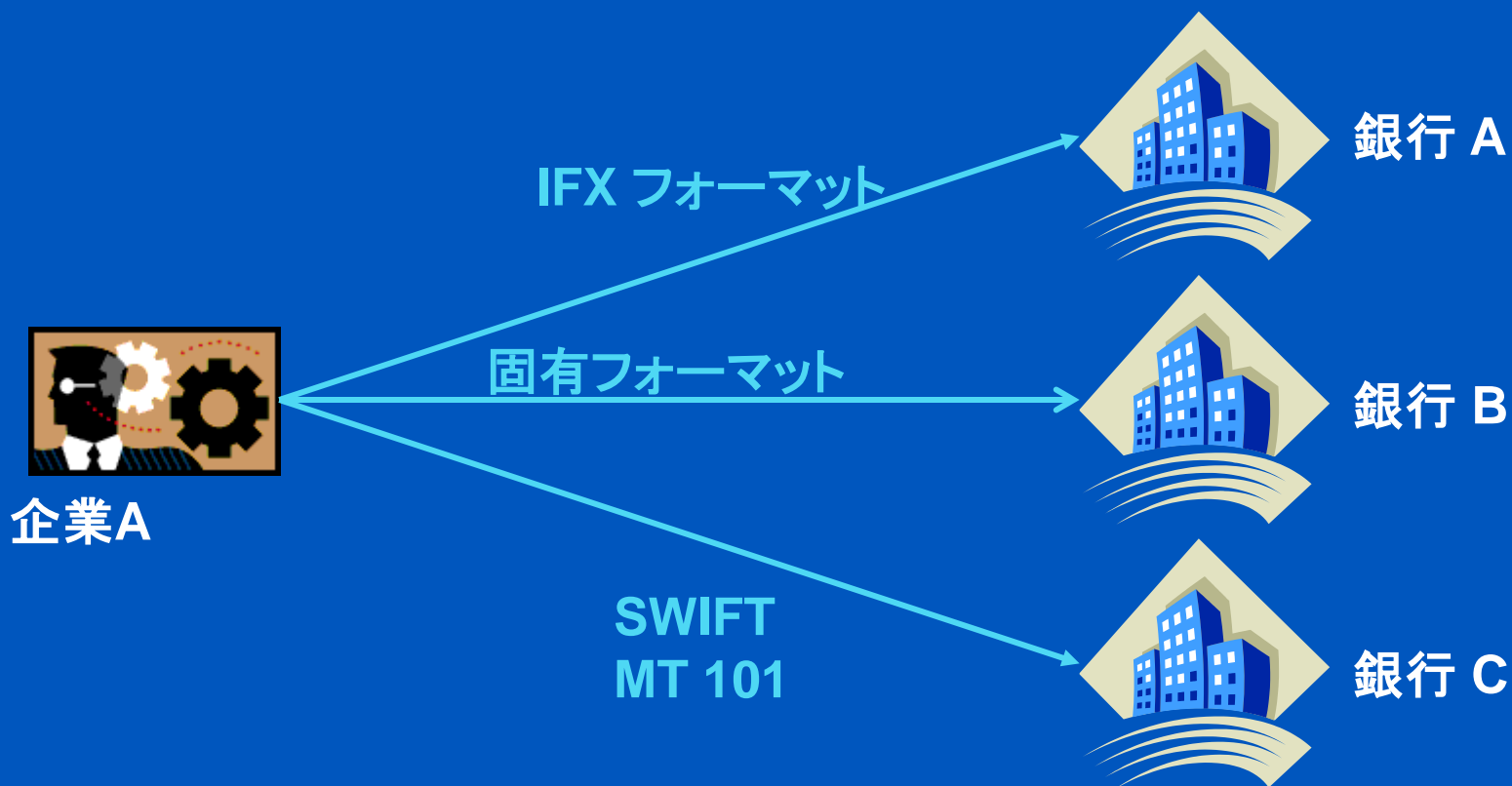
投資ロードマップは、以下の機関を含むThe Standards Coordination Group によって維持されている:

FIXPROTOCOL
INDUSTRY-DRIVEN MESSAGING STANDARDSM



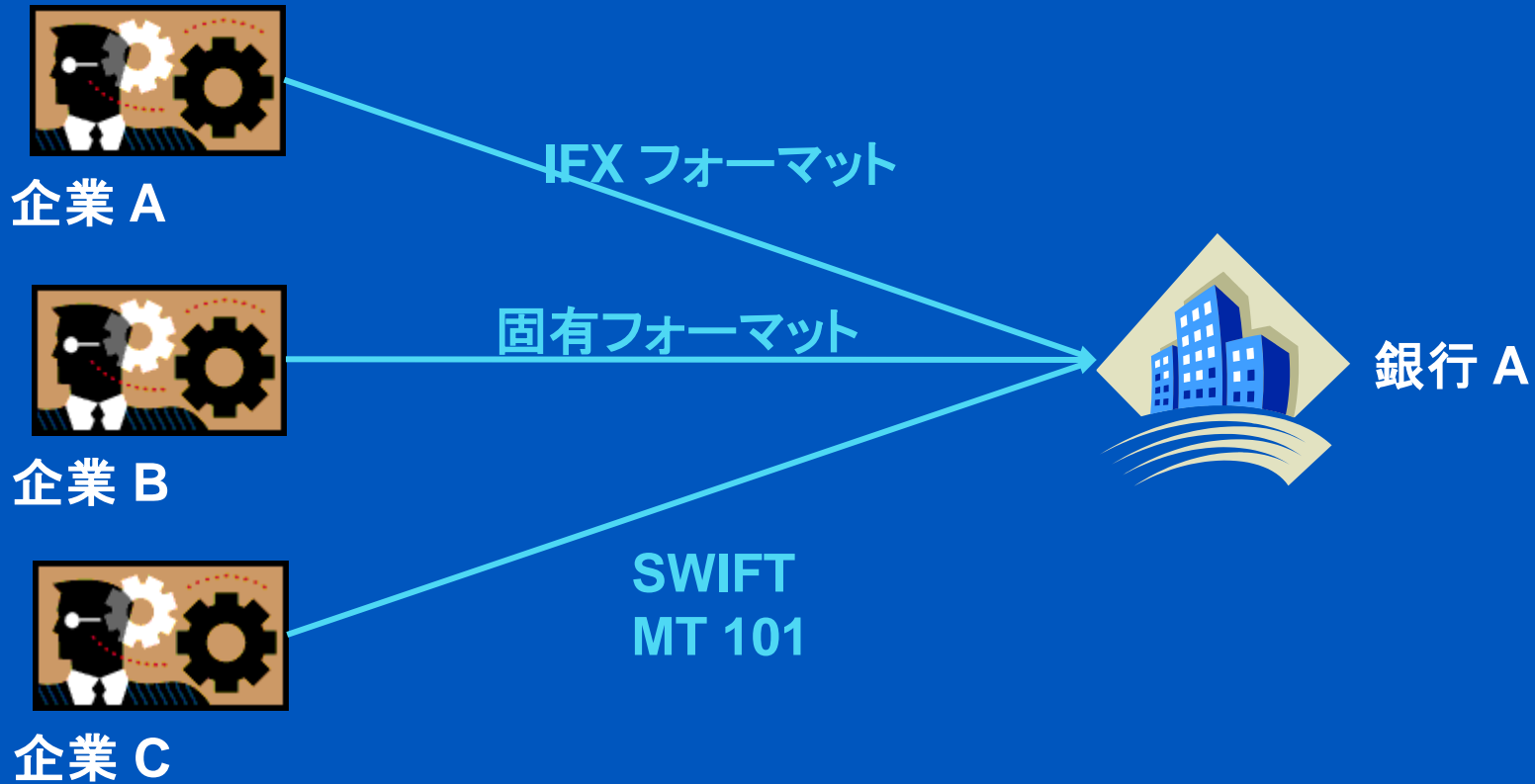
[Investment Roadmap](#) と関連する [FAQ](#) は、ダウンロード可能

インターオペラビリティ： 事業法人・金融機関間送金指図のケース



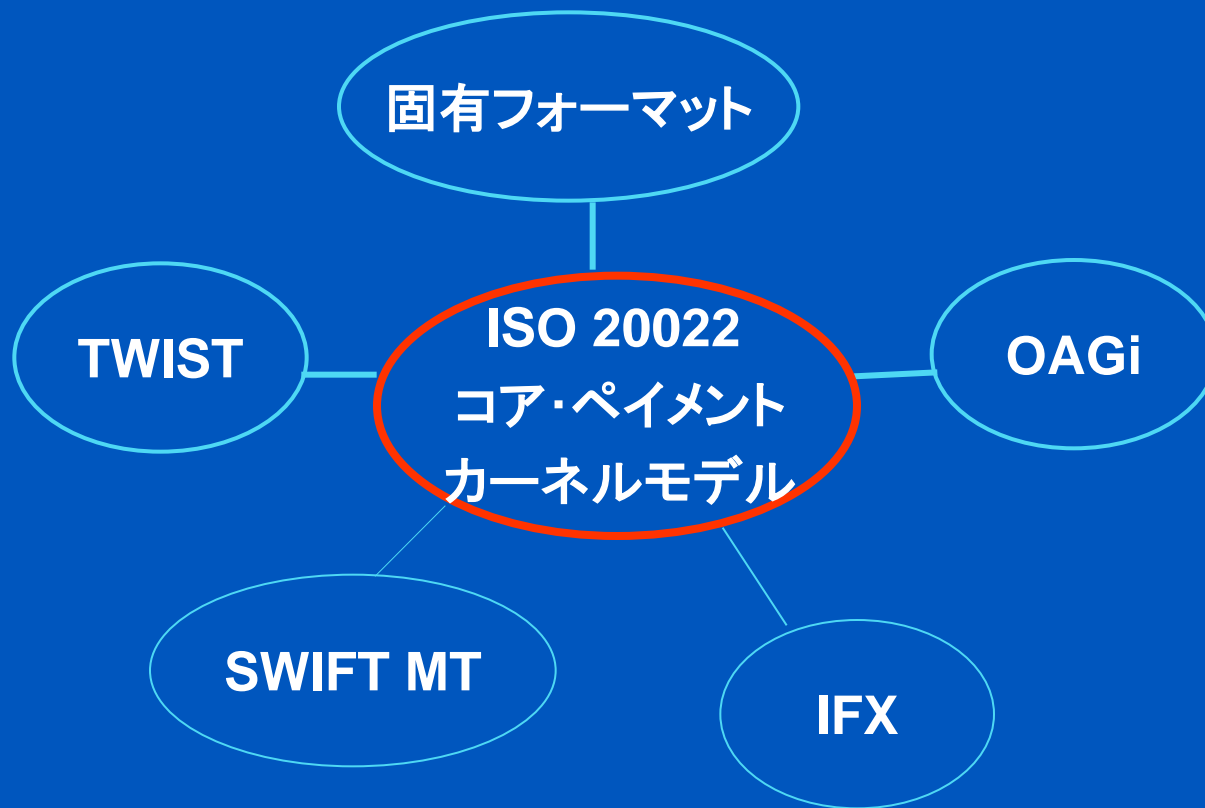
送金業務におけるケース：
企業がそれぞれの銀行のフォーマットに対応...

インターオペラビリティ： 事業法人・金融機関間送金指図のケース



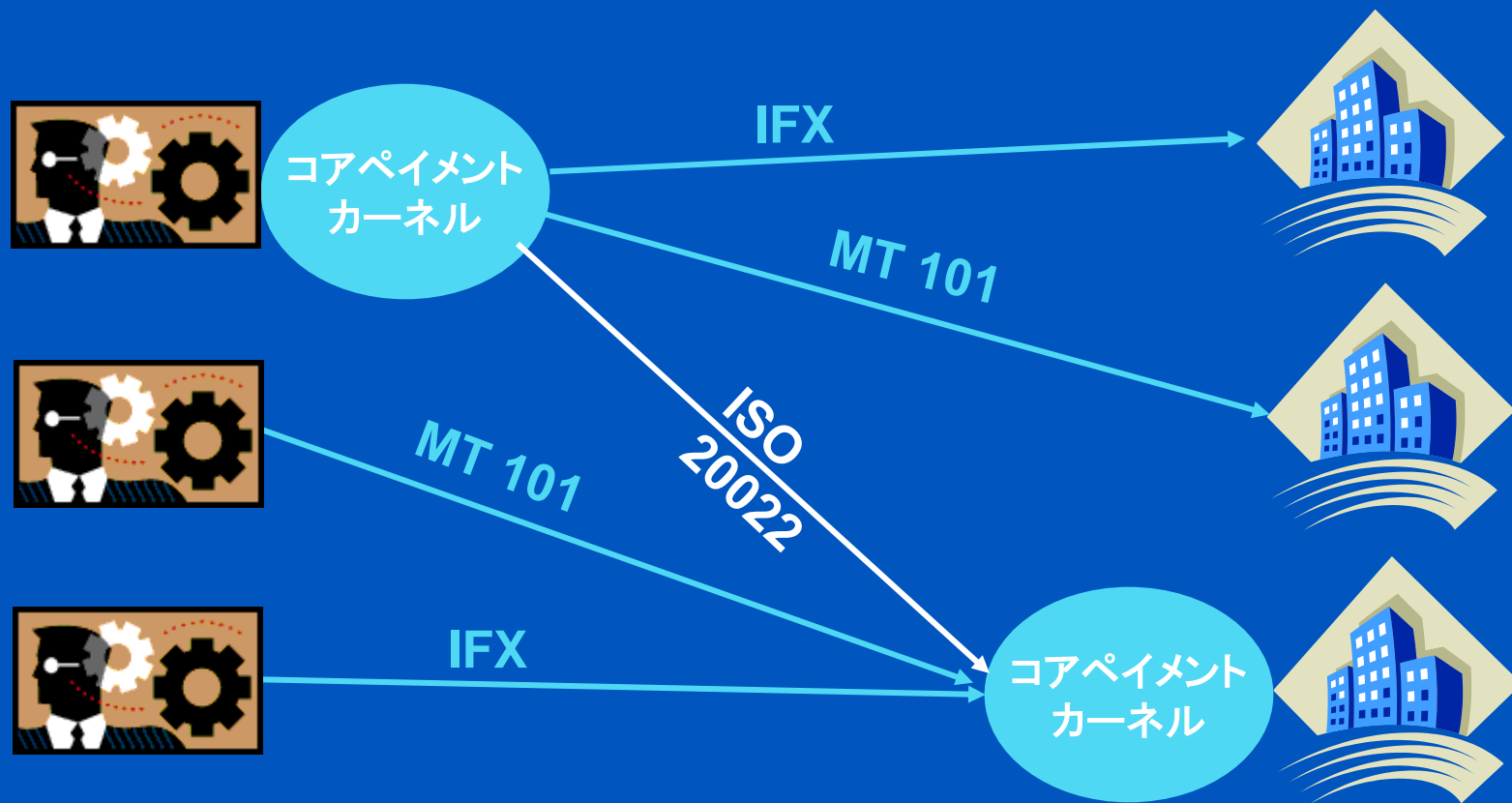
...あるいは銀行がそれぞれの企業のフォーマットに対応...

インターオペラビリティ： 事業法人・金融機関間送金指図のケース



リバースエンジニアリングにより、標準的なISO 20022メッセージモデルが作られている

インターオペラビリティ： 事業法人・金融機関間送金指図のケース



ISO 20022の導入は、収斂と共存を促進する



www.iso20022.org

Questions & Answers

iso20022ra@iso20022.org